

介助犬は生活のパートナー!

11月25日、JA共済の地域貢献の一環として「介助犬の学習」の授業が高久小で行われ、高久小、那須高原小、田代友愛小、3校の4年生が合同で介助犬の役割を学びました。

日本介助犬協会のインストラクターは、「介助犬として活躍するためのトレーニングでは、仕事ができるときはたくさんほめてあげて、できなかったときには、怒るのではなくほめないことが大切。犬は楽しいことは、どんどん覚えます」と話しました。

物を拾う、靴下を脱がせるなど介助犬の仕事を披露し、仕事ができるときに、児童たちが大きな拍手をしてほめると、介助犬の「ダンク」はしっぽをブンブン振って喜んでいました。



ダンクの優秀な仕事ぶりに児童たちからは「すごい」「頭いい」などの歓声が上がりました

知的書評合戦 ビブリオバトル

12月7日、町立図書館では、初めてとなるビブリオバトルが開催されました。ビブリオバトルとは、バトラー（発表者）がおすすめの本を持ち寄って、順番に本を紹介し、参加者が1番読みたくなった本に投票して、チャンプ本を決めるゲームです。那須高校文芸部の生徒3人と一般の方1人がバトラーとなり、それぞれおすすめの本の気に入った場面を話したり、心に響いた文章を読み上げたりしながら、おすすめの本を熱く語りました。

チャンプ本を紹介した那須高校文芸部の星ひらりさんは、「お気に入りの本を紹介するのは楽しかったです」と、ビブリオバトルの面白さを感じたようでした。



桜の苗木〈プリンセス雅〉〈神代曙〉を植樹

ミヤビ ジンダイアケボノ



町や経済4団体などによる天皇陛下御即位奉祝記念式典実行委員会は、12月11日、道の駅那須高原友愛の森で天皇陛下御即位奉祝記念植樹式を行い、桜の苗木〈プリンセス雅〉1本と〈神代曙〉5本を植えました。

平山町長は、「〈プリンセス雅〉は、一重の鮮やかな紅色の愛らしい花を咲かせます。『令和』という新しい時代に、この〈プリンセス雅〉の美しい成長と共に、町もきれいな花を咲かせることができるよう、美しく成長していきたい」と話しました。



~後世に残そう~ 那須町校歌フェスティバル第2弾!



昭和時代の学校統廃合により歌われることがなくなった校歌の収録・保存事業「那須町校歌フェスティバル」が12月22日、文化センターで行われ、約160人が参加しました。6月9日には平成の時代に閉校となった小中学校の校歌の収録・保存が行われ、それに次ぐ事業です。

広谷地中学校や寄居尋常小学校など計9校のうち、楽譜や音源が残っていない校歌は約半数あり、当時の卒業生らの記憶をたどりながら、文化協会音楽部長の青木澄子さんや地域おこし協力隊の石田多朗さん協力のもと校歌の復元に取り組みました。参加者らは歌詞に込められた意味や当時の情景をなつかしみながら、堂々と歌い上げました。